

(2)主要作物の土壌消毒剤使用基準

○麦類土壌消毒剤

成分名	商品名	センチュウ類	ケラ	ハリガネムシ類	ネキリムシ類	立枯病																	使用方法等
クローロピクリン	クローロピクリン(劇)	○	○	○	○	○																	土壌くん蒸
	ドクロクロール ドジョウピクリン クロピク80(劇)	○		○	○	○																	土壌くん蒸

○豆類(未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげんを除く) 土壤消毒剤

成分名	商品名	センチュウ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	ケラ	コガネムシ類幼虫	ハリガネムシ類	ネキリムシ類	萎黄病	菌核病	苗立枯病	(苗立枯病 リソクトニア菌)								使用方法等
D-D	D-D DC油剤 テロン(劇)		○	○															1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15~20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	

○ばれいしょ土壤消毒剤

成分名	商品名	センチュウ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	ケラ	ネキリムシ類	ハリガネムシ類		青枯病	そうか病	亀の甲症	萎凋病	粉状そうか病	黒あざ病					使用方法等
クロルピクリン	クロールピクリン(劇)	○			○	○	○		○	○	○								土壤くん蒸
	ドロクロール ドジョウピクリン クロピク80(劇)	○				○	○		○	○									土壤くん蒸
	クロルピクリン錠剤(劇)	○							○										土壤くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴あたり1錠処理する。<圃場>「1穴あたり1錠処理」30×30cm毎に1錠処理する。
D-D	D-D DC油剤 テロン(劇)								○	○									全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の碁盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。
			○	○															1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の碁盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。
クロルピクリン,D-D	ダブルストッパー(劇)		○	○					○		○								土壤くん蒸(30×30cmごとの深さ15cmの穴に1穴処理する。)
カーバムナトリウム塩	キルパー(普)								○										所定量の薬液を土壤中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。
ダゾメット	バスアミド微粒剤 ガスタード微粒剤(劇)								○		○	○	○						本剤の所定量を均一に散布して土壤と混和する。

○キャベツ土壌消毒剤

成分名	商品名	センチュウ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	ケラ	コガネムシ類幼虫	ハリガネムシ類	ネキリムシ類	萎黄病	菌核病	苗立枯病	(リソクトニア菌)	根こぶ病	バーティシウム萎凋病	株腐病					使用方法等
カーバム	NCS													○					(散布全面処理<無被覆>)無被覆の場合、原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和をして、7~10日後にガス抜きを行い、ガス抜き7~10日後に植付をする。	
													○	○					(散布全面処理)原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で7~10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7~10日後に植付をする。	
D-D	D-D DC油剤 テロン(劇)		○	○		○													1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15~20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	
クロルピクリン	クロピクテブ(劇)											○							土壌くん蒸	
	クロルピクリン錠剤(劇)	○							○										土壌くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴あたり1錠処理する。<圃場>「1穴あたり1錠処理」30×30cm毎に1錠処理する。	
	クロールピクリン(劇)	○			○		○	○	○					○					土壌くん蒸<圃場>「1㎡あたり10錠処理」地表面に所定量を散布処理する。	
	ドロクロールドジョウピクリン クロピク80(劇)	○					○	○	○										土壌くん蒸	
クロルピクリン,D-D	ソイリーン(劇)		○	○								○						耕起整地後、30cm間隔のフドリ状に深さ約15cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ホリエチレン、ビニール等で被覆する。		
メチルイソチオシアネート、D-D	ディトラベックス油剤(劇)	○							○	○				○	○				圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12~15cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7~14日後にガス抜き作業を行う。	
カーバムナトリウム塩	キルパー													○					所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	
														○	○				所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和して被覆する。	
																			前作のにんにくのイモグサセンチュウ蔓延防止 所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和して被覆する。	
																			前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミウマ類蔓延防止、前作のなすのフザリウム立枯病の蔓延防止、前作のきゅうりの褐斑病の蔓延防止、前作のトクコキョウの斑点病蔓延防止 所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。	
																			前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミウマ類蔓延防止、前作のいちごのネグサレセンチュウ蔓延防止、前作のトマト、ミニトマト、ピーマン、とうがらし類又はきゅうりのネコブセンチュウ蔓延防止、前作のトマト又はミニトマトのコナジラミ類蔓延防止、前作のトマトのハクサイタニ蔓延防止、前作のきゅうりのコナジラミ類、ネモブシ根腐病蔓延防止 予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	
																		前作のねぎの作物残渣に寄生したクロハネキノコバエ類蔓延防止 ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。		
ダゾメット	バスアミド微粒剤 ガスタード微粒剤(劇)		○						○				○	○	○				本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	

○ブロッコリー土壌消毒剤

成分名	商品名	ネ コ フ セ ン チ ュ ウ	根 こ ぶ 病																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
カーバムナトリウム塩	キルパー	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

○きゅうり土壌消毒剤

成分名	商品名	センチュウ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	ケラ	アブラムシ類	コガネムシ類幼虫	ハリガネムシ類	ネキリムシ類	疫病	白絹病	つる割病	苗立枯病(ビシウム菌)	苗立枯病	苗立枯病(菌)	苗立枯病(菌)	ホモブシス根腐病	使用方法等	
カーバム	NCS		○															(灌水チューブ法) 予め灌水チューブを設置し、ビニール等で被覆する。原液30リットルを水と共に10aあたり水量が3000リットル(100倍希釈)になるように灌水注入して、7~10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7~10日後に植付又はは種をする。	
			○																(散布全面処理) 原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で7~10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7~10日後に植付をする。
メチルイソチオシアネート	トラベックサイド油剤(劇)	○										○						圃場を耕起・整地した後、30cm間隔の柵りに深さ約12~15cmの穴を明け、所定量を注入し、直ちに覆土しホリエレン、ビニール等で被覆する。 薬剤処理7~10日後にガス抜き作業を行う。	
D-D	D-D DC油剤 テロン(劇)		○	○			○											1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り干鳥状に深さ15~20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	
カーバムナトリウム塩	キルパー		○									○						所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	
												○						予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。	
												○		○				所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
																			前作のにんにくのイモグサレセンチュウ蔓延防止 所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
																			前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミマ類蔓延防止、前作のなすのフザリウム立枯病の蔓延防止、前作のきゅうりの褐斑病の蔓延防止、前作のトルコギキョウの斑点病蔓延防止
																			前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミマ類蔓延防止、前作のいちごのネグサレセンチュウ蔓延防止、前作のトマト、ミニトマト、ピーマン、とうがらし類又はきゅうりのネコブセンチュウ蔓延防止、前作のトマト又はミニトマトのコナジラミ類蔓延防止、前作のトマトのハクサイダニ蔓延防止、前作のきゅうりのコナジラミ類、ホモブシス根腐病蔓延防止 予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。
																			前作のねぎの作物残渣に寄生したクロバネキノコバエ類蔓延防止 ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。

○きゅうり土壌消毒剤

成分名	商品名	センチュウ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	ケラ	アブラムシ類	コガネムシ類幼虫	ハリガネムシ類	ネキリムシ類	疫病	白絹病	つる割病	苗立枯病(ピシウム菌)	苗立枯病	苗立枯病(リゾクトニア)	ホモブシス根腐病	使用方法等	
クロルピクリン	クロピクフロー(劇)	○										○					耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からホリエレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	
	クロピクテープ(劇)	○										○	○		○	○	コシラミ類蔓延防止(本欄に挙げられた前作の収穫終了後古株撤去前まで使用可)、前作のいがり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうがまたは葉しょうがの古株枯死、前作のいんげんまめ、きゅうり、すいかまたはうり類(漬物用、ただし、漬物用を除外)の古株枯死、前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそうまたはごぼうの古株枯死、前作のみょうが(花穂)、みょうが(茎葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 灌水チューブを設置し、その上からホリエレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	
	ドロクロール ドジョウピクリン クロピク80(劇)	○						○	○	○	○	○	○				土壌くん蒸	
	クロールピクリン(劇)	○			○			○	○	○	○	○	○				土壌くん蒸	
	クロルピクリン錠剤(劇)		○								○	○	○					土壌くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴あたり1錠処理する。<圃場>1穴あたり1錠処理130×30cm毎に1錠処理する。
														○				土壌くん蒸<圃場>1㎡あたり10錠処理」地表面に所定量を散布処理する。
メチルイソチオシアネートD-D	ディトラベックス油剤(劇)	○										○					圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15cmに注入し、直ちに覆土、鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	
クロルピクリンD-D	ソイリーン(劇)		○	○								○				○	耕起整地後、30cm間隔のフドリ状に深さ約15cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ホリエレン、ビニール等で被覆する。	
	ダブルストッパー(劇)		○	○								○					土壌くん蒸(30×30cmごとの深さ15cmの穴に1穴処理する。)	

○すいか土壌消毒剤

成分名	商品名	センチュウ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	ケラ	コガネムシ類幼虫	ハリガネムシ類	ネキリムシ類	疫病	黒点根腐病	白絹病	つる割病	苗立枯病	ホモブシス根腐病							使用方法等		
カーバム	NCS		○																		(灌水チューブ法) 予め灌水チューブを設置し、ビニール等で被覆する。原液30リットルを水と共に10aあたり水量が3000リットル(100倍希釈)になるように灌水注入して、7~10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7~10日後に植付又はは種をする。		
			○																			(散布全面処理) 原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で7~10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7~10日後に植付をする。	
メチルイソチオシアネート	トラベックサイド油剤(劇)	○										○									圃場を耕起・整地した後、30cm間隔のトリに深さ約12~15cmの穴を明け、所定量を注入し、直ちに覆土しホリエレン、ビニール等で被覆する。 薬剤処理7~10日後にガス抜き作業を行う。		
D-D	D-D DC油剤 テロン(劇)		○	○		○															1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15~20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。		
カーバムナトリウム塩	キルパー		○																		所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。		
												○										所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
													○									予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。	
																						前作のにんにくのイモグサレセンチュウ蔓延防止 所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
																							前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミワ類蔓延防止、前作のなすのフザリウム立枯病の蔓延防止、前作のきゅうりの褐斑病の蔓延防止、前作のトルコキキョウの斑点病蔓延防止 所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。
																							前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミワ類蔓延防止、前作のいちごのネグサレセンチュウ蔓延防止、前作のトマト、ミニトマト、ピーマン、とうがらし類又はきゅうりのネコブセンチュウ蔓延防止、前作のトマト又はミニトマトのコナジラミ類蔓延防止、前作のトマトのハクサイダニ蔓延防止、前作のきゅうりのコナジラミ類、ホモブシス根腐病蔓延防止 予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。
																							前作のねぎの作物残渣に寄生したクロハネキノコバエ類蔓延防止 ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。
クロロピクリン	クロピクフロー(劇)		○									○		○							耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からホリエレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。		
																						コナジラミ類蔓延防止(本欄に挙げられた前作の収穫終了後古株撤去前まで使用可)、前作のいがり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうがまたは葉しょうがの古株枯死、前作のいんげんまめ、きゅうり、すいかまたはうり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)の古株枯死、前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそうまたはごぼうの古株枯死、前作のみょうが(花穂)、みょうが(茎葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 灌水チューブを設置し、その上からホリエレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	

○すいか土壌消毒剤

成分名	商品名	センチュウ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	ケラ	コガネムシ類幼虫	ハリガネムシ類	ネキリムシ類	疫病	黒点根腐病	白絹病	つる割病	苗木枯病	ホモブシス根腐病							使用方法等		
クロルピクリン	クロピクテープ(劇)		○									○									土壌くん蒸		
	クロルピクリン錠剤(劇)	○							○			○										土壌くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴あたり1錠処理する。<圃場>「1穴あたり1錠処理」30×30cm毎に1錠処理する。	
													○										土壌くん蒸<圃場>「1㎡あたり10錠処理」地表面に所定量を散布処理する。
														○									土壌くん蒸<床土・堆肥>30cmの高さに盛土する。「1平方メートルあたり10～20錠処理」地表面に所定量を散布、混和する。
	クロールピクリン(劇)	○			○		○	○	○			○	○	○								土壌くん蒸	
	ドロクロールドジョウピクリンクロピク80(劇)	○					○	○			○	○	○									土壌くん蒸	
クロルピクリンD-D	ソイリーン(劇)		○	○						○		○										耕起整地後、30cm間隔の柵り状に深さ約15cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ホリエチレン、ビニール等で被覆する。	
	ダブルストッパー(劇)		○	○								○										土壌くん蒸(30×30cmごとの深さ15cmの穴に1穴処理する。)	
メチルイソチオシアンレートD-D	ディトラベックス油剤(劇)	○										○										圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15cmに注入し注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	

○トマト土壤消毒剤

成分名	商品名	センチュウ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	ケラ	コガネムシ類幼虫	ハリガネムシ類	ネキリムシ類	青枯病	萎凋病	疫病	褐色根腐病	紅色根腐病	苗立枯病	苗立枯病(ピシウム菌)	苗立枯病(リンクトニア菌)	根腐萎凋病	半身萎凋病	使用方法等	
カーバム	NCS												○						(灌水チューブ法) 予め灌水チューブを設置し、ビニール等で被覆する。原液30リットルを水と共に10aあたり水量が3000リットル(100倍希釈)になるように灌水注入して、7~10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7~10日後に植付又はは種をする。	
									○										(散布全面処理) 原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で7~10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7~10日後に植付をする。	
メチルイソチオシアネート、D-D	ディ・トラベックス油剤(劇)	○								○							○	○	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12~15cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7~14日後にガス抜き作業を行う。	
D-D	D-D DC油剤 テロン(劇)		○	○		○													1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15~20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	
クローピクリン	クローピクフロー(劇)		○							○									耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	
	クローピクテープ(劇)		○							○	○								コジラミ類蔓延防止(本欄に挙げられた前作の収穫終了後古株撤去前まで使用可)、前作のいがり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうがまたは葉しょうがの古株枯死、前作のいんげんまめ、きゅうり、すいかまたはうり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)の古株枯死、前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそうまたはごぼうの古株枯死、前作のみょうが(花穂)、みょうが(茎葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死	
	クローピクリン錠剤(劇)		○							○	○									灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。
											○									土壌くん蒸
											○									土壌くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴あたり1錠処理する。<圃場>「1穴あたり1錠処理」30×30cm毎に1錠処理する。
											○									土壌くん蒸<圃場>「1㎡あたり10錠処理」地表面に所定量を散布処理する。
	クローピクリン(劇)	○		○	○	○	○	○	○	○									土壌くん蒸<圃場>「1㎡あたり10~15錠処理」地表面に所定量を散布処理する。	
ドクロール ドジョウピクリン クローピク80(劇)	○					○	○	○	○										土壌くん蒸<圃場>「1㎡あたり15~20錠処理」地表面に所定量を散布処理後、深耕ローラーを用いて混和処理する。	
クローピクリン D-D	ソイリーン(劇)		○	○					○	○									耕起整地後、30cm間隔のホリ状に深さ約15cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	
	ダブルストッパー(劇)		○	○						○							○		土壌くん蒸(30×30cmごとの深さ15cmの穴に1穴処理する。)	

○トマト土壤消毒剤

成分名	商品名	センチュウ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	ケラ	コガネムシ類幼虫	ハリガネムシ類	ネキリムシ類	青枯病	萎凋病	疫病	褐色根腐病	紅色根腐病	苗立枯病	苗立枯病(ピシウム菌)	苗立枯病(リンクトニア菌)	根腐萎凋病	半身萎凋病	使用方法等		
カーバムナトリウム塩	キルパー	○							○										○ 所定量の薬液を土壤表面に散布し、直ちに混和し被覆する。		
									○											予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壤表面に散布または灌水する。	
		○							○											○ 所定量の薬液を土壤中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	
																				前作のにんにくのイモグサレセンチュウ蔓延防止 所定量の薬液を土壤表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
																				前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミウマ類蔓延防止、前作のなすのフザリウム立枯病の蔓延防止、前作のきゅうりの褐斑病の蔓延防止、前作のトルコギキョウの斑点病蔓延防止 所定量の薬液を水で希釈し土壤表面に散布または灌水する。	
																					前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミウマ類蔓延防止、前作のいちごのネグサレセンチュウ蔓延防止、前作のトマト、ミニトマト、ピーマン、とうがらし類又はきゅうりのネコブセンチュウ蔓延防止、前作のトマト又はミニトマトのコナジラミ類蔓延防止、前作のトマトのハクサイダニ蔓延防止、前作のきゅうりのコナジラミ類、ホムブンス根腐病蔓延防止 予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壤表面に散布又は灌水する。
																					前作のねぎの作物残渣に寄生したクハネキノコ類蔓延防止 ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。
ダゾメット	バスアミド微粒剤 ガスタード微粒剤(劇)	○							○	○		○	○					○	○ 本剤の所定量を均一に散布して土壤と混和する。白絹病にも適用がある。		
																			○	土壤に本剤の所定量を加え十分混和する。	

○なす土壤消毒剤

成分名	商品名	センチュウ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	ケラ	コガネムシ類幼虫	ハリガネムシ類	ネキリムシ類	青枯病	萎凋病	疫病	苗立枯病	立枯病 (唐)	半立枯病	半身萎凋病	白絹病	使用方法等	
D-D	D-D DC油剤 テロン(劇)		○	○		○											1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15~20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	
カーバムナトリウム塩	キルパー		○												○		所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	
															○		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。	
															○	○	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
																		前作のにんにくのイモグサレセンチュウ蔓延防止 所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
																		前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミマ類蔓延防止、前作のなすのフザリウム立枯病の蔓延防止、前作のきゅうりの褐斑病の蔓延防止、前作のトルコギキョウの斑点病蔓延防止 所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。
クロルピクリン	クロピクフロー(劇)		○						○						○		耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する ネコブセンチュウの使用量は30リットル/10a	
																	コナジラミ類蔓延防止(本欄に挙げられた前作の収穫終了後古株撤去前まで使用可)、前作のいがり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうがまたは葉しょうがの古株枯死、前作のいんげんまめ、きゅうり、すいかまたはうり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)の古株枯死、前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそうまたはごぼうの古株枯死、前作のみょうが(花穂)、みょうが(茎葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	
	クロピクテープ(劇)							○						○	○		土壌くん蒸	

○なす土壤消毒剤

成分名	商品名	センチュウ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	ケラ	コガネムシ類幼虫	ハリガネムシ類	ネキリムシ類	青枯病	萎凋病	疫病	苗立枯病	苗立枯病(唐)	半枯病	半身萎凋病	白絹病		使用方法等
クロルピクリン	クロルピクリン錠剤(劇)	○							○			○			○			土壌くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴あたり1錠処理する。<圃場>「1穴あたり1錠処理」30×30cm毎に1錠処理する。
									○						○			土壌くん蒸<圃場>「1平方メートルあたり10錠処理」地表面に所定量を散布処理する。
												○						土壌くん蒸<床土・堆肥>30cmの高さに盛土する。「1平方メートルあたり10錠処理」地表面に所定量を散布、混和する。
	クロールピクリン(劇)	○			○		○	○				○			○			土壌くん蒸
	ドロクロールドジョウピクリンクロピク80(劇)	○					○	○	○						○			土壌くん蒸
メチルイソチオシアンネートD-D	ディトラベックス油剤(劇)	○								○					○	○		圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。
クロルピクリンD-D	ソイリーン(劇)		○	○					○									耕起整地後、30cm間隔の柵り状に深さ約15cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ホリエレン、ビニール等で被覆する。
	ダブルストッパー(劇)		○	○					○						○	○		土壌くん蒸(30×30cmごとの深さ15cmの穴に1穴処理する。)
ダゾメット	バスアミド微粒剤 ガスタード微粒剤(劇)		○						○				○		○	○		本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。

〇ピーマン土壤消毒剤

成分名	商品名	センチュウ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	ケラ	コガネムシ類幼虫	ハリガネムシ類	ネキリムシ類	青枯病	萎凋病	疫病	苗木枯病 (苗立枯病トニア唐)	半身萎凋病	白絹病				使用方法等	
D-D	D-D DC油剤 テロン(劇)		○	○		○												1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15~20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	
クロールピクリン	クロピクフロー(劇)		○						○	○								耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。ネコブセンチュウの使用量は30リットル/10a	
	クロピクテープ(劇)								○	○								土壌くん蒸	
	クロールピクリン錠剤(劇)		○							○	○								土壌くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴あたり1錠処理する。<圃場>「1穴あたり1錠処理」30×30cm毎に1錠処理する。
										○									土壌くん蒸<圃場>「1㎡あたり10錠処理」地表面に所定量を散布処理する。
	クロールピクリン(劇)		○		○		○	○	○	○	○							土壌くん蒸	
	ドロクロール ドジョウピクリン クロピク80(劇)		○					○	○	○									土壌くん蒸
クロールピクリン D-D	ソイリーン(劇)		○	○					○									耕起整地後、30cm間隔のホリ状に深さ約15cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	
	ダブルストッパー(劇)		○	○					○	○								土壌くん蒸(30×30cmごとの深さ15cmの穴に1穴処理する。)	
ダゾメット	ガスタード微粒剤(劇)バ スアミド微粒剤(劇)								○	○			○	○	○			本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	
カーバマナトリウム塩	キルパー								○				○					所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
									○									予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。	
		○												○				所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し、直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	
																			前作のにんにくのイモグサレセンチュウ蔓延防止 所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
																			前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミマ類蔓延防止、前作のなすのフサリウム立枯病の蔓延防止、前作のきゅうりの褐斑病の蔓延防止、前作のトルコギキョウの斑点病蔓延防止 所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。
																			前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミマ類蔓延防止、前作のいちごのネグサレセンチュウ蔓延防止、前作のトマト、ミニトマト、ピーマン、とうがらし類又はきゅうりのネコブセンチュウ蔓延防止、前作のトマト又はミニトマトのコンナミ類蔓延防止、前作のトマトのハクサダニ蔓延防止、前作のきゅうりのコンナミ類、ホモブス根腐病蔓延防止 予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。
																	前作のねぎの作物残渣に寄生したクロバネキノコ類蔓延防止 ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。		

○ねぎ土壤消毒剤

有効成分名	商品名	センチュウ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	ケラ	コガネムシ類幼虫	ハリガネムシ類	ネキリムシ類	ネギハモグリバエ	ネダニ類	萎凋病	黒腐菌核病	紅色根腐病	小菌核腐敗病	白絹病	苗立枯病 (苗立枯病トニア菌)	根腐萎凋病	使用方法等	
メチルイソチオシアネートD-D	ディ・トラベックス油剤(劇)	○									○	○					○	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	
メチルイソチオシアネート	トラベックスサイド油剤(劇)	○									○							圃場を耕起・整地した後、30cm間隔のホリに深さ約12～15cmの穴をあげ、所定量を注入し、直ちに覆土しホリエレン、ビニール等で被覆する。薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	
D-D	D-D DC油剤 テロン(劇)	○	○		○													1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作業処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	
										○								全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。	
クローピクリン	クローピクテープ(劇)														○			土壤くん蒸	
	クローピクリン錠剤(劇)	○													○			土壤くん蒸(床土・堆肥)床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴あたり1錠処理する。〈圃場〉1穴あたり1錠処理130×30cm毎に1錠処理する。	
	クローピクリン(劇)	○			○		○								○			土壤くん蒸	
	ドロクローピクリン ドジョウピクリン クローピク80(劇)														○			土壤くん蒸	
クローピクリン D-D	ソイリン(劇)		○	○											○			耕起整地後、30cm間隔のホリ状に深さ約15cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ホリエレン、ビニール等で被覆する。	
	ダブルストッパー(劇)		○	○							○							土壤くん蒸(30×30cmごとの深さ15cmの穴に1穴処理する。)	
カーバムナトリウム塩	キルパー											○			○			所定量の薬液を土壤中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	
												○			○			所定量の薬液を土壤表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
																		○	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壤表面に散布または灌水する。
																			前作のにんにくのイモグサレセンチュウ蔓延防止 所定量の薬液を土壤表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
																			前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミマ類蔓延防止、前作のなすのフザリウム立枯病の蔓延防止、前作のきゅうりの褐斑病の蔓延防止、前作のトルコキキョウの斑点病蔓延防止 所定量の薬液を水で希釈し土壤表面に散布または灌水する。
																			前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミマ類蔓延防止、前作のいちごのネグサレセンチュウ蔓延防止、前作のトマト、ミトマ、ピーマン、とうがらし類又はきゅうりのネコブセンチュウ蔓延防止、前作のトマト又はミトマのコンナミ類蔓延防止、前作のトマトのハクサイダニ蔓延防止、前作のきゅうりのコンナミ類、ホモフス根腐病蔓延防止 予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壤表面に散布または灌水する。
ダゾメット	バスアミド微粒剤 ガスタード微粒剤(劇)	○						○		○	○	○	○	○	○	○	○	本剤の所定量を均一に散布して土壤と混和する。	

○ほうれんそう土壤消毒剤

成分名	商品名	対象病害													使用方法等				
		センチュウ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	ケラ	コガネムシ類幼虫	ハリガネムシ類	ネキリムシ類	ホウレンソウケナガコナダニ	萎凋病	株腐病	立枯病	苗立枯病(ピシウム菌)	苗立枯病		根腐病	バーティシリウム萎凋病		
カーバム	NCS(普)																	(灌水チューブ法) 予め灌水チューブを設置し、ビニール等で被覆する。原液30リットルを水と共に10aあたり水量が3000リットル(100倍希釈)になるように灌水注入して、7~10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7~10日後に植付又はは種をする。	
メチルイソチオシアネートD-D	ディ・トラベックス油剤(劇)	○															○	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12~15cmに注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。薬剤処理7~14日後にガス抜き作業を行う。	
メチルイソチオシアネート	トラベックスサイド油剤(劇)	○															○	圃場を耕起・整地した後、30cm間隔のホリに深さ約12~15cmの穴を明け、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。薬剤処理7~10日後にガス抜き作業を行う。	
D-D	D-D DC油剤 テロン(劇)		○	○		○												1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15~20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作業処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	
カーバムナトリウム塩	キルバー(普)																	所定量の薬液を土壤中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	
																			所定量の薬液を土壤表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
																			予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壤表面に散布または灌水する。
																			前作のにんにくのイモグサセンチュウ蔓延防止 所定量の薬液を土壤表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
																			前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミワタ類蔓延防止、前作のなすのフザリウム立枯病の蔓延防止、前作のきゅうりの褐斑病の蔓延防止、前作のトルコギキョウの斑点病蔓延防止 所定量の薬液を水で希釈し土壤表面に散布または灌水する。
																			前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミワタ類蔓延防止、前作のいちごのネグサレセンチュウ蔓延防止、前作のトマト、ミニトマト、ピーマン、とうがらし類又はきゅうりのネコブセンチュウ蔓延防止、前作のトマト又はミニトマトのコナジラミ類蔓延防止、前作のトマトのハクサイダニ蔓延防止、前作のきゅうりのコナジラミ類、ホモジス根腐病蔓延防止 予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壤表面に散布又は灌水する。
																			前作のほうれんそうのホウレンソウケナガコナダニ蔓延防止 1) 所定量の薬液を土壤表面に散布する。 2) 所定量の薬液を土壤表面に散布し混和する。
クロルピクリン	クロピクロー(劇)		○															耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	
																		コナジラミ類蔓延防止(本欄に挙げられた前作の収穫終了後古株撤去前まで使用可)、前作のいんげん、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうがまたは菜しょうがの古株枯死、前作のいんげんまめ、きゅうり、ずいかまたはうり類(漬物用)、ただし、漬物用用を除外)の古株枯死、前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそうまたはごぼうの古株枯死、前作のみょうが(花種)、みょうが(茎葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セリまたは花き類・観葉植物の古株枯死 灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	
	クロピクテーブ(劇)																	土壌くん蒸	
	クロルピクリン錠剤(劇)	○																土壌くん蒸(床土・堆肥)床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴あたり1錠処理する。<圃場>1穴あたり1錠処理 30×30cm毎に1錠処理する。	
																		土壌くん蒸<圃場>「1平方メートルあたり8~10錠処理」 地表面に所定量を散布処理する。	
																		土壌くん蒸<圃場>「1平方メートルあたり10錠処理」 地表面に所定量を散布処理する。	

○ほうれんそう土壤消毒剤

成分名	商品名	センチュウ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	ケラ	コガネムシ類幼虫	ハリガネムシ類	ネキリムシ類	ニホウレンソウケナガコナダ	萎凋病	株腐病	立枯病	苗立枯病(ピシウム菌)	苗立枯病	根腐病	バーティシリウム萎凋病			使用方法等
クロルピクリン	クロールピクリン(劇)	○			○														土壌くん蒸
	ドロクロール ドジョウピクリン クロピク80(劇)	○					○	○	○										土壌くん蒸
クロルピクリン D-D	ソイリーン(劇)		○	○															耕起整地後、30cm間隔の升り状に深さ約15cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ホリエチレン、ビニール等で被覆する。
	ダブルストッパー(劇)		○	○							○								土壌くん蒸(30×30cmごとの深さ15cmの穴に1穴処理する。)
	バスアミド微粒剤 ガスタード微粒剤(劇)									○	○	○				○			本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。

○レタス土壤消毒剤

成分名	商品名	対象病害														使用方法等				
		センチュウ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	ケラ	コガネムシ類幼虫	ハリガネムシ類	ネキリムシ類	根腐病	ビッグベイン病	すそ枯病	病	白絹病							
メチルイソチオシアネート,D-D	ディトラベックス油剤(劇)	○							○			○								圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。
D-D	D-D DC油剤 テロン(劇)		○	○		○														1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。
クロルピクリン	クロピクテーブ(劇)									○										土壤くん蒸
	クロルピクリン錠剤(劇)	○							○											土壤くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴あたり1錠処理する。<圃場>1穴あたり1錠処理130×30cm毎に1錠処理する。
	クロールピクリン(劇)	○			○				○	○	○	○								土壤くん蒸
	ドロクロールドジョウピクリン クロピク80(劇)	○							○	○	○	○								土壤くん蒸
カーバムナトリウム塩	キルパー			○					○											所定量の薬液を土壤中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。
										○	○									所定量の薬液を土壤表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
																				前作のにんにくのイモグサレセンチュウ蔓延防止 所定量の薬液を土壤表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
																				前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミウマ類蔓延防止、前作のなすのフザリウム立枯病の蔓延防止、前作のきゅうりの褐斑病の蔓延防止、前作のトルコギキョウの斑点病蔓延防止 所定量の薬液を水で希釈し土壤表面に散布または灌水する。
																				前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミウマ類蔓延防止、前作のいちごのネグサレセンチュウ蔓延防止、前作のトマト、ミニトマト、ピーマン、とうがらし類又はきゅうりのネコブセンチュウ蔓延防止、前作のトマト又はミニトマトのコナジラミ類蔓延防止、前作のトマトのハクサイダニ蔓延防止、前作のきゅうりのコナジラミ類、ホモジス根腐病蔓延防止 予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壤表面に散布又は灌水する。
ダゾメット	バスマミド微粒剤 ガスタード微粒剤(劇)			○							○									本剤の所定量を均一に散布して土壤と混和する
クロルピクリン,D-D	ソイリーン(劇)		○	○																耕起整地後、30cm間隔のチドリ状に深さ約15cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ホリエチレン、ビニール等で被覆する。

〇いちご土壤消毒剤

成分名	商品名	センチュウ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	ケラ	コガネムシ類幼虫	ハリガネムシ類	ネキリムシ類	萎黄病	疫病	炭疽病	青枯病	萎凋病	芽枯病							使用方法等		
カーバム	NCS(普)								○												(灌水チューブ法) 予め灌水チューブを設置し、ビニール等で被覆する。原液30リットルを水と共に10aあたり水量が3000リットル(100倍希釈)になるように灌水注入して、7~10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7~10日後に植付又はは種をする。		
メチルイソチオンアネートD-D	ディトラベックス油剤(劇)	○							○	○	○		○								圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12~15cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7~14日後にガス抜き作業を行う。		
メチルイソチオンアネート	トラベックス油剤(劇)	○							○												圃場を耕起・整地した後、30cm間隔の柵りに深さ約12~15cmの穴を明け、所定量を注入し、直ちに覆土しポリエチレン、ビニール等で被覆する。薬剤処理7~10日後にガス抜き作業を行う。		
D-D	D-D DC油剤 テロン(劇)		○	○		○															1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り干鳥状に深さ15~20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作業処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。		
クロルピクリンD-D	ソイリン(劇)		○	○					○		○										耕起整地後、30cm間隔の柵り状に深さ約15cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。		
クロルピクリン	クロピクフロー(劇)		○	○					○												耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。 コナジラミ類蔓延防止(本欄に挙げられた前作の収穫終了後古株撤去前まで使用可)、前作のにがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうがまたは葉しょうがの古株枯死、前作のいんげんまめ、きゅうり、すいかまたはうり類(漬物用、ただし、漬物用を除外)の古株枯死、前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそうまたはごぼうの古株枯死、前作のみょうが(花穂)、みょうが(茎葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。		
	クロピクテープ(劇)			○					○	○											土壌くん蒸		
	クロルピクリン錠剤(劇)		○						○	○	○										土壌くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴あたり1錠処理する。<圃場>1穴あたり1錠処理 30×30cm毎に1錠処理する。		
	クロールピクリン(劇)		○		○		○	○	○	○												土壌くん蒸	
	ドロクロールドジョウピクリンクロピク80(劇)		○				○	○	○	○												土壌くん蒸	
クロルピクリンD-D	ダブルストッパー(劇)		○	○					○		○										土壌くん蒸(30×30cmごとの深さ15cmの穴に1穴処理する。)		
カーバムナトリウム塩	キルパー(普)								○												所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。		
									○													予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。	
			○							○												所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	
																						前作のにんじくのモクサレセンチュウ蔓延防止	
																							所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
																							前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミマ類蔓延防止、前作のなすのフザリウム立枯病の蔓延防止、前作のきゅうりの褐斑病の蔓延防止、前作のトルギキョウの斑点病蔓延防止 所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。
ダゾメット	バスアミド微粒剤 ガスタード微粒剤(劇)								○	○	○	○	○	○							前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミマ類蔓延防止、前作のいちごのネグサレセンチュウ蔓延防止、前作のトマト、ミニトマト、ピーマン、とうがらし類又はきゅうりのネコブセンチュウ蔓延防止、前作のトマト又はミニトマトのコナジラミ類蔓延防止、前作のトマトのハクサイダニ蔓延防止、前作のきゅうりのコナジラミ類、ホモシス根腐病蔓延防止 予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。		
																						前作のねぎの作物残渣に寄生したクロバネキノコハエ類蔓延防止	
																						ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	
									○	○	○	○	○								本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。		

○アスパラガス土壌消毒剤

成分名	商品名	センチュウ類	ケラ	ハリガネムシ類	ネキリムシ類							立枯病	紋羽病																		使用方法等
クロルピクリン	クロールピクリン(劇)	○	○	○	○							○	○																		土壌くん蒸
	ドクロール ドジョウピクリン クロピク80(劇)	○		○	○								○																		土壌くん蒸

○にんじん土壤消毒剤

成分名	商品名	センチュウ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	ケラ	ハリガネムシ類	ネキリムシ類	コガネムシ類幼虫			こぶ病	紋羽病	しみ腐病	黒しみ病	萎凋病					使用方法等
クロルピクリン	クロールピクリン(劇)	○			○	○	○				○	○	○							土壌くん蒸
	ドロクロール ドジョウピクリン クロピク80(劇)	○				○	○													土壌くん蒸
	クロルピクリン錠剤(劇)	○										○								土壌くん蒸<床土・堆肥>床土・堆肥を30cmの高さに積み30×30cm毎に1穴あたり1錠処理する。<圃場>「1穴あたり1錠処理」30×30cm毎に1錠処理する。
メチルイソチオンアネート,D-D	ディ・トラベックス油剤(劇)	○											○	○	○					圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。
メチルイソチオンアネート	トラベックス油剤(劇)	○																		圃場を耕起・整地した後、30cm間隔のフリに深さ約12～15cmの穴を明け、所定量を注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～10日後(但し、たばこは30日後)にガス抜き作業を行う。
D-D	D-D DC油剤 テロン(劇)		○	○				○												1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2) 作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。
クロルピクリン D-D	ソイリーン(劇)		○	○									○							耕起整地後、30cm間隔のフリ状に深さ約15cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ホリエチレン、ビニール等で被覆する。
	ダブルストッパー(劇)		○	○									○	○	○					土壌くん蒸(30×30cmごとの深さ15cmの穴に1穴処理する。)
カーバムナトリウム塩	キルパー(普)		○										○							1) 所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。 2) 所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
																				前作のにんにくのイモグサレセンチュウ蔓延防止 所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
																				前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミウマ類蔓延防止、前作のなすのフザリウム立枯病の蔓延防止、前作のきゅうりの褐斑病の蔓延防止、前作のトルコキキョウの斑点病蔓延防止 所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。
																				前作の野菜類又は花き類・観葉植物の古株枯死、アザミウマ類蔓延防止、前作のいちごのネグサレセンチュウ蔓延防止、前作のトマト、ミニトマト、ピーマン、とうがらし類又はきゅうりのネコブセンチュウ蔓延防止、前作のトマト又はミニトマトのコナジラミ類蔓延防止、前作のトマトのハクサイダニ蔓延防止、前作のきゅうりのコナジラミ類、ホモジス根腐病蔓延防止 予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。
																			前作のねぎの作物残渣に寄生したクロバネキノコバエ類蔓延防止 ほ場内に集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	

○果樹類土壤消毒剤

成分名	商品名	白紋羽病	紫紋羽病																		使用方法等
カーバム	NCS	○	○																		耕起整地後30cm間隔の千鳥状に深さ約15～50cmの穴をあけて薬液を注入し、ビニール等で7～10日間被覆する。

○かんきつ(苗木)土壤消毒剤

成分名	商品名	温州萎縮病																			使用方法等
クローロピクリン	クローロピクリン錠剤(劇)	○																			土壤くん蒸(圃場)深さ15cmと45cmの位置のそれぞれに1㎡あたり10錠をばら撒き散布する
	クローロピクリン(劇)	○																			土壤くん蒸

○なし土壤消毒剤

成分名	商品名	白紋羽病																			使用方法等
ダゾメット	バスアミド微粒剤 ガスタード微粒剤(劇)	○																			被害株跡地に本剤の所定量を均一に散布して土壌と十分混和する。